

6. 地方からの便り

高齢者を火災から守る！！—ケア・マネージャー等を対象に防火教室を実施—

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部では、11月9日（日）からはじまる秋の全国火災予防運動に先駆け、管内22事業所34人のケア・マネージャー及び介護関係職員等を対象に防火教室を開催しました。

これは、高齢者社会の進展に伴い、毎年のようにお年寄りが火災の犠牲になっていることから、独り暮らしなどの高齢者と接する機会が多い、介護関係職員の方にも火災予防の知識を学んでいただくために実施したものです。

この防火教室では、一人暮らしの高齢者家庭での火災事例や家庭防火のポイントなどの防火講演のあと、消防本部4階の防災学習センターで煙の怖さなどの体験をし、屋外において粉末消火器を用いた消火訓練を行ないました。

参加者達は「初めて使う本物の消火器で消火体験ができ、貴重な体験ができました。」と語っていました。



消防本部では、高齢者を火災から守るため、ケア・マネージャーや介護関係の方々が訪問時に「火の元に気をつけてや」と一言呼びかけてもらうことが、最大の火災予防につながると考えており、今後も多くの事業所等と密接な関係をつくり一人でも多くの高齢者を火災から守るような活動を展開していく予定です。

[▲ このページの上に戻る](#)

新居浜市消防ひろば

愛媛県 新居浜市消防本部

新居浜市幼少年婦人防火委員会では、10月11日（土）9時30分から12時00分の間、消防庁舎及びその周辺において、遊び心で参加できる消防関係コーナーを計画し、広く幼児・少年達の参加を求め、消防自動車等を実際に触れ、目で見ることにより、幼少年期から火災予防思想の芽生えを期待し、併せて、児童の父兄

や一般市民に対しても、防火思想の普及、高揚を図る目的で消防ひろばを開催いたしました。



この消防ひろばは毎年開催しており19回目となりました。今年も幼少年消防クラブ員をはじめ、婦人防火クラブ員、女性消防団員、自主防災組織員、一般市民等、約2,500人の参加により盛況の裡に実施いたしました。



内容としては、地震体験コーナー・煙体験コーナー・防火太鼓台かきくらべ・消火器体験コーナーなど14のコーナーを設け、火や煙の怖さと防火の大切さを体験してもらえたと思います。

最後に、参加した父兄や一般市民へのアンケート調査の結果、大変有意義な1日であった、ぜひ来年も参加したいという多くの声をいただきました。



[▲ このページの上に戻る](#)

火災のない住みよい郷土をめざして

宮城県 栗原地域広域行政事務組合消防本部

平成15年10月19日、宮城県栗原郡花山村石楠花センターにおいて栗原地区少年婦人防火委員会が主催となり、財団法人日本防火協会・栗原地区婦人防火クラブ連合会の共催のもとに郡内十町村からクラブ員430名の参加者により第20回栗原地区婦人防火クラブ研修会を開催しました。



研修会では各種表彰後、花山婦人防火クラブ連合会の前会長佐々木あえ子さんが「二十年を降り返って」と題して体験発表を行い、築館消防署救急救命士の講師による救急処置実技訓練も行われました。最後に「災害のない豊かな栗原をめざして」を合言葉に防火宣言を全員で唱和して閉会しました。

[▲ このページの上に戻る](#)

集団救急事故対策訓練

愛知県 尾三消防本部

平成14年10月14日（火）午前9時30分より、三好町三好公園総合体育館において、尾三消防本部集団救急事故対策訓練が行われました。

訓練は、体育館利用者（傷病者）の協力を得て、「地震発生後の避難誘導中の多数傷病者発生事故」を想定し、災害対応能力の向上及び消防部隊の効率的運用、現場指揮本部の確立を図るとともに、迅速かつ安全に傷病者の救出救護を図ることを目的に訓練が行われました。

地元消防団員及び救護支援ボランティアによる応急救護訓練、体育館の職員による通報、情報伝達訓練もあわせて行われ、実践さながらの訓練を実施しました。



[▲ このページの上に戻る](#)

第17回幼年消防クラブ秩父地区大会実施

埼玉県 秩父消防本部



秩父地区少年婦人防火委員会では、10月24日（金）秩父ミュージックパークにおいて、(財)日本防火協会の小林弘明常務理事を始め、来賓者多数の御出席を賜り、23クラブの年長組園児、婦人防火クラブ、指導者（保護者）等1,100名が参加して「幼年消防クラブ秩父地区大会」が盛大に行われました。

この大会は、参加者の防火意識の再認識と幼年者に対する「防火思想の普及啓蒙」を図ることを目的としており、昭和61年の第1回大会以後毎年実施（平成7年には全国大会実施）して

おります。

今年で第17回目となった本大会は、好天にも恵まれ、紅葉の進む秩父連山を眺めながら、第1部は子供達の元気な「防火の誓い」から始まり、秩父消防音楽隊の演奏に合わせて、「おさかな天国」など5曲をクラブ員全員で合唱しました。第2部は防災ヘリコプターの救助訓練やはしご車の訓練が華を添え、プロ

グラムどおり順調に進行しフィナーレを迎えることが出来ました。



[▲ このページの上に戻る](#)

第19回幼年消防白河地方大会

福島県 白河地方広域市町村圏消防本部

第19回幼年消防白河地方大会が10月17日(金)白河市中央体育館と陸上競技場を会場に『幼児に対する防火思想の高揚と火に対する正しいしつけを身につけさせる』ことを目的として開催されました。

参加したのは白河広域管内(1市4町7村)24の幼年消防クラブ(保育園・幼稚園)から1,162名の幼年消防クラブ員、父母や消防職員、来賓など900名の合わせて約2,000名が出席し盛大な幼年消防大会となりました。



第1部「チビッコ防火まつり」、第2部「防火フェスティバル」の2部構成で開催され、第1部は、大信村幼稚園幼年消防クラブ員による「ひょっこりひょうたん島」、泉崎幼稚園幼年消防クラブ員による「ジブリの世界へようこそ」、消防協会白河支部ラッパ隊の「ラッパ演奏」、白河消防署員の「うたっておどって消防隊」などすばらしい演技が披露されました。

その後、来賓者を前にして幼年消防クラブ全員が一齐に「火遊びは絶対しません」「お父さん、お母さん、先生の教えを守ります」など元気よく誓いしっかり約束できました。

第2部は、屋外に会場を移し、防災ヘリの救助訓練見学・消防車の試乗・放水体験・記念写真撮影などの各コーナーを楽しみました。





消防防災ヘリコプター「ふくしま」が上空に飛来するとクラブ員から大きな歓声があがり、防災ヘリの救出訓練では、ヘリによる強風に驚きながらも物珍しさも加わり熱心に見学していました。

各コーナーでは、ミニ消防車2台の試乗コーナーや防災ヘリの記念撮影会が人気を集めました。



[▲ このページの上に戻る](#)

平成15年度栃木県自主防災組織指導者講習会

栃木県 栃木県消防防災課

平成15年10月10日（金）、栃木県宇都宮市の栃木県総合教育センターで「平成15年度栃木県自主防災組織指導者講習会」が開催され、地域の自主防災活動にあたっている450の方が受講しました。



防災システム研究所長の山村武彦氏を迎えて「阪神・淡路大震災に学ぶ 家庭と地域の自主防災」をテーマに講演をいただくなど、災害に備えた実践的な防災対策や、地域が一体となった自主防災体制づくりに役立つ講習会となりました。

[▲ このページの上に戻る](#)

第2回幼年消防クラブ「ちびっ子防火大会」を開催

県央地域広域市町村圏組合管内防火委員会及び諫早消防署では、10月16日（木）諫早市体育館において、諫早市内の幼年消防クラブ員が一堂に会する第2回幼年消防クラブ「ちびっ子防火大会」を開催しました。



諫早市内には33の幼年消防クラブ（総数3456名）があり、遊びをとおして防火の知識を高め、火遊びの防止や消防の仕事に対する理解を深めることにより、将来りっぱな社会人としての素地を作ることを目的で、今回は19の幼年消防クラブから年長組の約900名が参加して行われました。

諫早消防署の幼年消防クラブ「ちびっ子防火大会」は、今回が2回目でクラブ員たちは全員お揃いの法被を着て、くす玉割から始まり、チャレンジ・体験コーナーと進み集団演技では「公園にいきましょう」を踊り、楽しい半日を過ごしました。



最後に園児代表が、「防火の誓い」を大きな声で誓い合いました。

諫早消防署では、火遊びの防止には幼児期からの防火教育が有効であり、これからもちびっ子防火大会を継続していこうと思っております。

▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 自治体消防55周年記念表彰及び記念大会の実施](#)
- [2. 平成15年度都道府県婦人防火クラブ連絡協議会 幹部地域研修会開催](#)
- [3. 松岡会長が旭日小綬章を受章](#)
- [4. 防火管理講習始まる](#)
- [5. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
6. 地方からの便り
- [7. あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)
- [8. 日本防火協会からのお知らせ](#)